

⑫ 公開実用新案公報(U) 平4-43074

⑪ Int. Cl.<sup>3</sup>

H 04 N 5/64  
5/655

識別記号

B

庁内整理番号

7205-5C  
7205-5C

⑬ 公開 平成4年(1992)4月13日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

⑭ 考案の名称 テレビジョン受像機

⑮ 実 願 平2-84819

⑯ 出 願 平2(1990)8月10日

⑰ 考 案 者 本 多 弘 一 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑱ 考 案 者 鈴 木 旭 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑲ 考 案 者 岸 俊 行 神奈川県川崎市高津区末長1116番地 株式会社富士通ゼネラル内

⑳ 出 願 人 株式会社富士通ゼネラル 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

㉑ 実用新案登録請求の範囲

(1) テレビジョン受像機に於いて、筐体内に備えたテレビジョン受像機用のメイン基板と、同メイン基板に接続したインターフェース基板と、同インターフェース基板の一面に備えた複数の接続端子と、同複数の接続端子の相対する複数の開口部を備えたリアカバーとから成り、同リアカバーを前記筐体の背面に係止し、前記複数の開口部を挿通して前記複数の接続端子それぞれに付加機能ユニットをそれぞれ装着して電氣的に接続することを特徴とするテレビジョン受像機。

(2) 前記付加機能ユニットがTVチューナ、衛星放送受信チューナ、文字放送受信用装置、セキ

ユリテイー装置、テレビ電話装置、ミニバス装置、ゴーストキャンセラ装置、AVスイッチャー装置、パソコン通信装置等から成る請求項(1)記載のテレビジョン受像機。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す装着手順の分解斜視図である。

図中、1はフロントキャビネット、2は第一開口部、3はレール部、4は受像管、5はスピーカ、6はメイン基板、7はインターフェース基板、8は接続端子、9はリアカバー、10は第二開口部、11は付加機能ユニット、12は接続部材、13は締結部材、14は偏向ヨークである。